

まちのわだい



写真左から渡邊町長、久保田さん、井上さん、松崎さん

## 私たちの安全を守る若き隊員 町出身の自衛隊員が表敬訪問

4月に自衛隊へ入隊した久保田皓太さん（吉里区）、井上翔愛さん（増永区）、松崎勇人さん（藤田区）が、3月16日（火）、渡邊町長へあいさつに訪れました。

町長からは「国内外での活動や災害対応、新型コロナウイルス感染症に対する派遣など、自衛隊に対する国民の期待はますます高まっている状況です。一日も早く立派に活躍されることを期待しています」と激励があり、3人は気持ちを新たにしました。

自衛官募集に関するお問い合わせやご相談は、自衛隊福岡地方協力本部八女地域事務所（☎0943・24・5192）へ。

## ソフトボールで全国大会出場

井上凜さん

3月27日（土）〜30日（火）、福岡県北九州市で開催された「第17回 JOC カップ都道府県対抗女子ソフトボール大会」に、広川中学校ソフトボール部の井上凜さん（二條区）が福岡県代表として出場しました。

初戦、0対0の緊迫した展開でしたが、その後失点し、惜しくも敗退。しかし、井上さんは「福岡県代表に選ばれてとても良い経験ができました。この経験で学んだことを今後、自分のチームで活かしていきたいです」と話していました。

なお、井上さんには青少年健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」が広川町から贈られました。



3/24（水）表敬訪問。写真左から渡邊町長、井上さん、吉住元教育長

## 行政の相談はお気軽に

熊添博さん



4月1日、熊添博さん（二條区）が、広川町担当の行政相談委員として総務大臣から委嘱されました。熊添さんが委嘱を受けるのは、今年で2期目。住民の身近な相談相手として、毎月1回、年金や道路、福祉など、行政サービスに関する相談に無料で応じています。開催日時などは、毎月本紙でお知らせしています（今月号は15ページ）。相談を希望する人は総務課行政係（☎0943・322・1255）へ。

## 町の文化振興に貢献

中村訓浩さん



3月31日（水）、中村訓浩さん（清楽茶屋区）が文化財専門委員として14年間、広川町の文化振興に貢献したとして、広川町教育委員会から表彰されました。中村さんは「御井・上妻郡境石」など、12件の町内文化財を町指定として認定する審議を実施。表彰式では地域の文化財の大切さを述べました。

## コロナ禍の今、歴史に学ぶ 企画展「疫病とのたたかい」

広川町古墳公園資料館で1月16日(出)3月21日(日)、黒船来航以降の日本と疫病とのたたかひの歴史をたどる企画展「疫病とのたたかい」が開かれました。新型コロナウイルスによる混乱の真ただ中、歴史の教訓の一端を感じてもらいたいとの思いから、町教育委員会が開催したもので、コレラやペスト、天然痘といった疫病と日本とのかかわりについて、過去の文献や写真、資料で紹介。江戸時代のコレラ流行下、当条村出身の医師、石橋猷菴が治療と予防に奔走したことや、久留米藩で最初に天然痘のワクチン接種を施したのが吉常村の医師、熊谷文叔であることなども紹介されました。



## 学校生活を最高の思い出に まちづくりスタートアップ補助金

昨年度、中学生は新型コロナウイルスの影響により学校行事が中止になるなど、ウイルスに翻弄される一年をおくることになりました。そんな中、町内の団体「広川ブランドチャネル会議」がまちづくりスタートアップ補助金を活用。毎日の学生生活を前向きに過ごす生徒を応援しようと、広川中学校で動画作成を行いました。合唱コンクールやクラブ活動など、日ごろの学校生活の様子を撮影し、完成した動画は広川中学校へ寄贈されました。

地域の人の応援を受けた生徒たちも、今できることを自分たちで企画するなど、積極的に取り組むきっかけとなっています。

## 自粛犬花ちゃんもお祝い 広川中学校卒業式

広川中学校で3月12日(金)、卒業式が行われ、5クラス計164人が思いの学び舎を巣立ちました。式典後には、サプライズで広川中学校卒業生のダンサー、イソツブさんがスクリーンに登場。動画サイトで人気の自粛犬花ちゃんも登場し、「期待に胸膨らませて、はりきって次のステージさん進んでください」と卒業生へエールを送りました。



## 新たな希望を胸に 上広川小学校卒業式

3月19日(金)町内3つの小学校で卒業式が行われ、上広川小学校27人、中広川小学校113人、下広川小学校36人、合計176人が新たな一歩を踏み出しました。上広川小学校では、塚本校長が「これからどんなことがあっても、生きることをあきらめないでください」と涙を浮かべながら卒業生へエールを送りました。





## 地域の人たちへ恩返しを

広川中学校 1年生

3月5日(金)〜23日(火)、子どもたちのために八女茶などの提供や登下校の見守りをしている地域の人たちへ、広川中学校1年生からメッセージカードやお守りが贈られました。これは生徒会2人の「日ごろお世話になっている地域の人たちへ恩返しをしたい」という思いから実現したものです。企画から運営まですべて生徒だけで行われています。3月17日(水)は、学校周辺のごみ拾いも実施。生徒会の樋口葵さんは「プレゼントを受け取った人が涙を流して喜んでいたらという話を聞いて、本当にやってよかったと思います。クラスのみんも協力的でうれしかったです」と話していました。



登下校の見守りをしている  
民生委員・児童委員



八女茶を提供した  
JA 福岡八女 茶業部会 (写真左)



地域の人へ贈った手作りのメッセージカード



生徒会1年生 (当時)  
樋口 葵さん

生徒会1年生 (当時)  
野田 菜々李さん



## 期待とやる気で胸いっぱい

下広川小学校入学式

が各小学校へ入学しました。下広川小学校では、担任の先生から名前を呼ばれた児童が大きな声で返事をしていました。後藤校長は「勉強すること、友達と仲良くすること、元氣いっぱい遊ぶことの3つをがんばってください」と式辞を述べました。



4月9日(金)、町内3つの小学校で入学式が行われ、上広川小学校29人、中広川小学校126人、下広川小学校43人、合計198人の児童

## 期待と緊張を胸に

広川中学校入学式

「友達をたくさんつくりたい」と決意を語りました。

しました。式では古川校長が「これからの中学校生活では、自分を大切にする、目標に向かってがんばることの2点を意識してほしい」と式辞を述べました。新入生代表の高藤旭さんは「勉強をがんばりたい」と決意を語りました。



広川中学校で4月8日(木)、入学式が行われ、5クラス計165人の新入生が真新しい制服に身を包み、第一歩を踏み出